新潟県

平成24年12月３日
総務管理部統計課

# 平成23年社会生活基本調査　結果の概要

## 生活行動に関する結果
## 生活時間に関する結果

平成23年10月20日現在で実施した「平成23年社会生活基本調査」の結果（生活行動に関する結果、生活時間に関する結果）が、総務省統計局から公表されました。

これは、新潟県分の概要をとりまとめたものです。

なお、集計結果は、インターネットでもご覧いただけます。

県データはこちら◆◆ http://www. pref. niigata. jp/

全国データは総務省統計局◆◆ http://www. stat. go. jp/

新潟県　総務管理部　統計課

チュッピーちゃん

お問い合わせ先
新潟県 総務管理部 統計課 生活統計班 人口・教育担当
電　話　：　０２５－２８０－５４２０
ＦＡＸ　：　０２５－２８１－３８０６

# 目　　次

調査の概要、用語の解説 ---------- 1

Ⅰ　生活行動に関する結果
　1　学習・自己啓発・訓練 ---------- 4
　2　ボランティア活動 ---------- 6
　3　スポーツ ---------- 8
　4　趣味・娯楽 ---------- 10
　5　旅行・行楽 ---------- 12

Ⅱ　生活時間に関する結果
　1　１日の生活時間の配分 ---------- 14
　2　１次活動 ---------- 16
　3　２次活動 ---------- 16
　4　３次活動 ---------- 18

統　計　表 ---------- 21

## ― 調査の概要 ―

### 1　調査の目的

平成23年社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動等への関わりなどの実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、平成23年10月に実施した。

社会生活基本調査は、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、今回の調査は8回目に当たる。

### 2　調査の対象

総務大臣が指定した127調査区（全国では約6,900調査区）の中から無作為に選定した1,524世帯（全国では約83,000世帯）にふだん住んでいる10歳以上の世帯員を対象とした。

### 3　調査期日

調査は平成23年10月20日現在で行った。

ただし、生活時間については、10月15日から10月23日までの９日間のうち、調査区ごとに指定した連続する２日間について調査した。

### 4　調査事項

(1) すべての世帯員に関する事項
　世帯主との続柄、出生の年月又は年齢、在学，卒業等教育又は保育の状況
(2) 10歳未満の世帯員に関する事項
　育児支援の利用の状況
(3) 10歳以上の世帯員に関する事項
　氏名、男女の別、学習・研究活動の状況、生活時間の配分及び天候　など
(4) 15歳以上の世帯員に関する事項
　介護の状況、就業状態、勤務形態、仕事の種類、ふだんの１週間の就業時間 など
(5) 60歳以上の世帯員に関する事項
　子の住居の所在地
(6) 世帯に関する事項
　世帯の種類、10歳以上の世帯員数、10歳未満の世帯員数、住居の種類　など

― 利用上の注意 ―

○ この集計結果における構成比、割合は、四捨五入により算出してあるため総数（100%）と一致しない場合がある。
○ ポイント差、構成比等の比率は、表章数値から算出している。
○ 本文中の各活動の種類名については、一部省略をしている。
○ 統計表中「0」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。
○ 統計表中「－」は、該当数字のない箇所である。

## ― 用語の解説 ―

### １　生　活　行　動

**（過去１年間に行った行動）**

自由時間等における活動のうち主なもの（「学習・自己啓発・訓練」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」、「ボランティア活動」及び「旅行・行楽」）について、過去１年間（平成 22 年 10 月 20 日～ 23 年 10 月 19 日）の活動状況を、それぞれの種類別に行ったか否か、行った場合には、１年間の活動頻度や目的などを調査した。

**○　学習・自己啓発・訓練**

個人の自由時間の中で行う学習・自己啓発・訓練で、社会人が仕事として行うものや、学生が学業として行うものは除いた。

**○　スポーツ**

個人の自由時間の中で行うスポーツをいう。

学生が体育の授業で行うものや職業スポーツ選手が仕事として行うものを除いた。

**○　趣味・娯楽**

個人の自由時間の中で行うものをいう。

**○　ボランティア活動**

報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉増進のために行う活動をいう。

なお、ボランティア団体が開催する催し物などへの単なる参加は除いた。

**○　旅行・行楽**

仕事や学業などを含めた旅行・行楽を対象としている。

旅行とは、１泊２日以上にわたって行うすべての旅行をいう。

行楽とは、日常生活圏を離れて宿泊を伴わず半日以上かけて行うものをいう。また、夜行日帰りを含む。

**○　行動者数**

過去１年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数

**○　行動者率**

10歳以上人口に対する行動者数の割合

**○　平均行動日数**

行動者について平均した過去１年間の行動日数

## ２　生　活　時　間

### （生活行動の種類）

１日の行動を 20 種類に分類し、時間帯（15 分単位）別の行動状況（同時に２種類以上の行動をした場合は、主なもの一つ）を調査した。

この 20 種類の行動を大きく３つの活動にまとめ、睡眠、食事など生理的に必要な活動を**「１次活動」**、仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動を**「２次活動」**、これら以外の各人が自由に使える時間における活動を**「３次活動」**とした。

20 種類の行動とその３区分は、次のとおりである。

**○　１次活動**

睡眠、身の回りの用事、食事

**○　２次活動**

通勤・通学、仕事（収入を伴う仕事）、学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）、家事、介護・看護、育児、買い物

**○　３次活動**

移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養、その他

**○　平均時間**

行動の種類別平均時間は、一人１日当たりの平均行動時間数で、総平均と行動者平均、曜日別平均と週全体平均とがある。

**○　総平均**

該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均

**○　行動者平均**

該当する種類の行動をした人のみについての平均

**○　曜日別平均**

調査の曜日ごとに平均値を算出したもの。平日平均（月曜日～金曜日の平均値）と月曜日～日曜日平均がある。

**○　週全体平均**

次の式により曜日別結果を平均して算出した。

（ 月曜日平均 ＋…… ＋ 日曜日平均）÷７

# Ⅰ　生活行動に関する結果

## 1　学習・自己啓発・訓練

### (1)　１年間に「学習・自己啓発・訓練」※) を行った人は57万1千人、行動者率は27.0%

過去１年間に何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った人は57万1千人で行動者率は27.0%となっている。男女別に見ると、男性は26.2%、女性は27.7%で、女性が1.5ポイント高くなっている。

行動者率は平成18年と比べると、0.8ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性は0.6ポイント、女性は0.8ポイントそれぞれ上昇している。

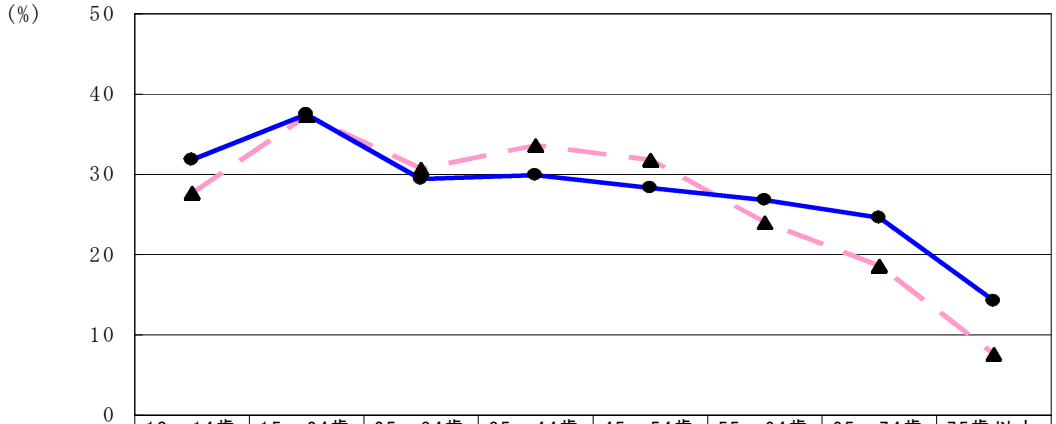
行動者率の全国順位は45位となっており、男性は8.1ポイント、女性は8.4ポイントそれぞれ全国を下回っている。

年齢階層別にみると15～24歳が37.5%と最も高く、75歳以上が14.2%と最も低くなっている。平成18年と比べると75歳以上の行動者率の上昇が大きい。

男女別にみると10～14歳の男女差がもっとも大きくなっている。

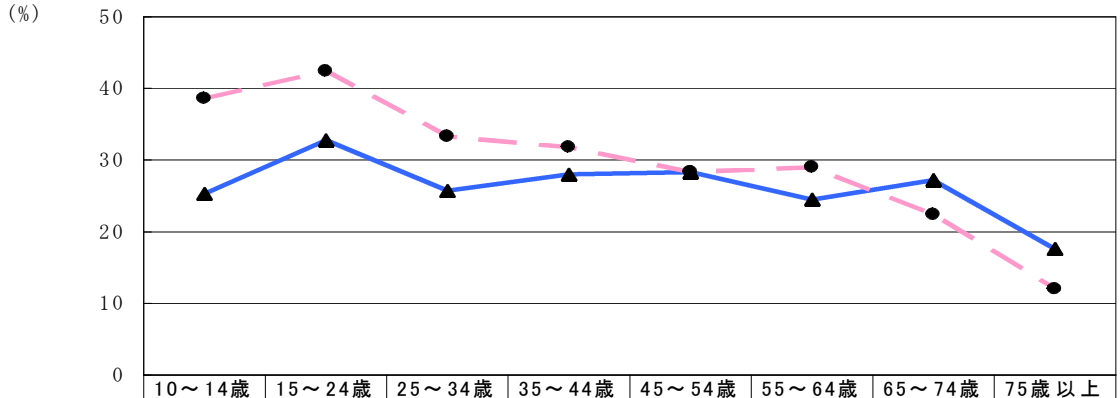
※)「学習・自己啓発・訓練」は、社会人の職場研修や児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

図１－１「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 27.7 | 37.3 | 30.7 | 33.6 | 31.8 | 24.0 | 18.6 | 7.6 |
| 平成23年 | 31.8 | 37.5 | 29.4 | 29.9 | 28.3 | 26.8 | 24.6 | 14.2 |

図１－２「学習・自己啓発・訓練」の男女、年齢階級別行動者率



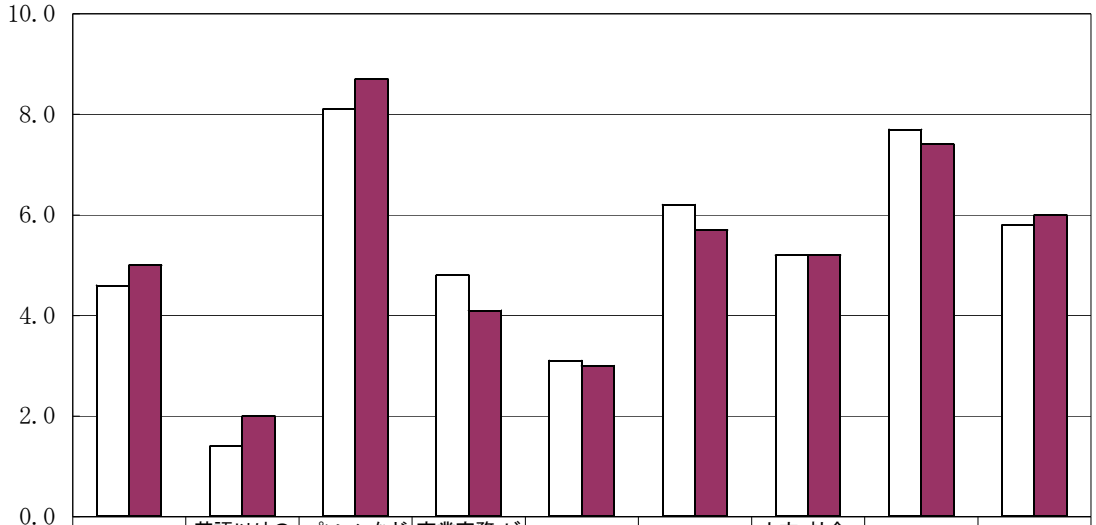

| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 25.3 | 32.8 | 25.7 | 28.0 | 28.3 | 24.5 | 27.2 | 17.6 |
| 女 | 38.6 | 42.4 | 33.3 | 31.8 | 28.3 | 29.0 | 22.4 | 12.0 |

### (2)　「パソコンなどの情報処理」は男性、「芸術・文化」は女性の行動者率が高い

「学習・自己啓発・訓練」の行動者率を種類別にみると、「パソコンなどの情報処理」が8.7%と最も高く、次いで「芸術・文化」が7.4%、「家政・家事」が5.7%などとなっている。平成18年と比べると、「商業実務・ビジネス関係」が0.7ポイント低下、「パソコンなどの情報処理」、「英語以外の外国語」が0.6%ポイント上昇などとなっている。

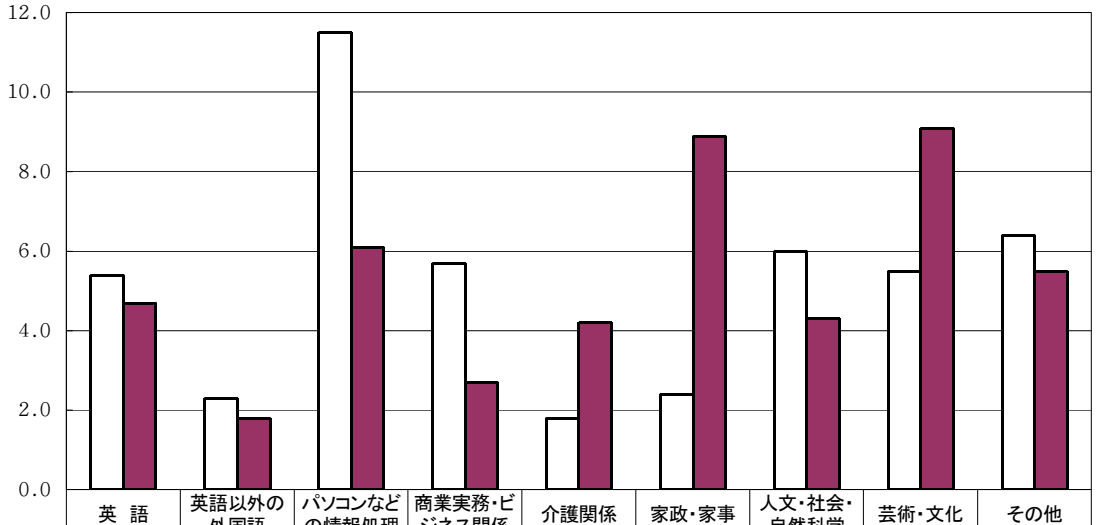
男女別にみると、男性は、「パソコンなどの情報処理」が11.5%と最も高く、次いで「人文・社会・自然科学」が6.0%などとなっている。一方、女性は、「芸術・文化」が9.1%と最も高く、次いで「家政・家事」が8.9%などとなっている。

(%)　図1－3「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成18年、平成23年）




| | 英　語 | 英語以外の外国語 | パソコンなどの情報処理 | 商業実務・ビジネス関係 | 介護関係 | 家政・家事 | 人文・社会・自然科学 | 芸術・文化 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □ 平成18年 | 4.6 | 1.4 | 8.1 | 4.8 | 3.1 | 6.2 | 5.2 | 7.7 | 5.8 |
| ■ 平成23年 | 5.0 | 2.0 | 8.7 | 4.1 | 3.0 | 5.7 | 5.2 | 7.4 | 6.0 |

(%)　図1－4「学習・自己啓発・訓練」の種類、男女別行動者率




| | 英　語 | 英語以外の外国語 | パソコンなどの情報処理 | 商業実務・ビジネス関係 | 介護関係 | 家政・家事 | 人文・社会・自然科学 | 芸術・文化 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □ 男 | 5.4 | 2.3 | 11.5 | 5.7 | 1.8 | 2.4 | 6.0 | 5.5 | 6.4 |
| ■ 女 | 4.7 | 1.8 | 6.1 | 2.7 | 4.2 | 8.9 | 4.3 | 9.1 | 5.5 |

## 2　ボランティア活動

### (1)　１年間に「ボランティア活動」を行った人は49万8千人、行動者率は23.5%

過去１年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は49万8千人で、行動者率は23.5%となっている。男女別に見ると、男性は23.9%、女性は23.2%で、男性が女性より0.7ポイント高くなっている。

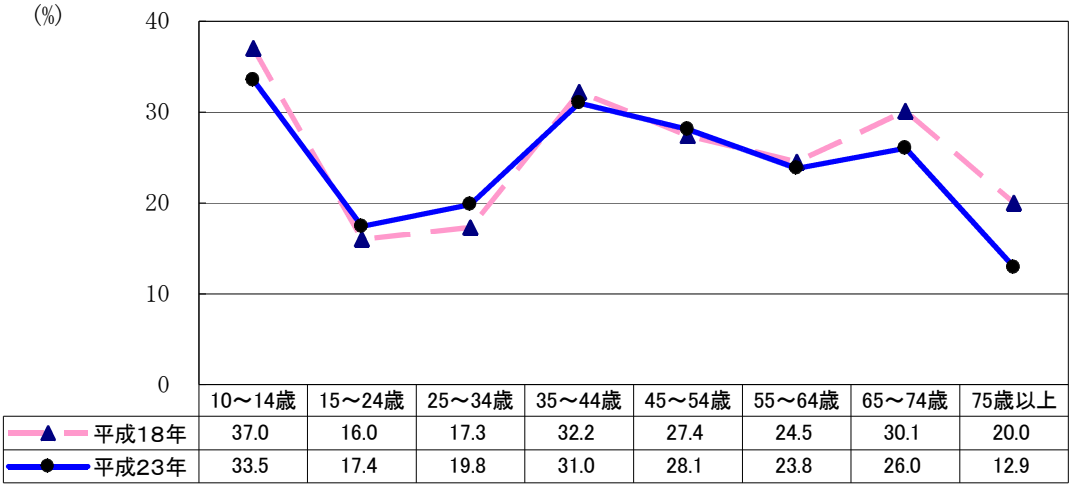
行動者率は平成18年と比べると、1.4ポイント低下している。これを男女別にみると、男性は1.5ポイント、女性は1.2ポイントそれぞれ低下している。

行動者率の全国順位は42位となっており、男性は0.6ポイント、女性は4.7ポイントそれぞれ全国を下回っている。

年齢階級別にみると、10～14歳が33.5%と最も高く、75歳以上が12.9%と最も低くなっている。平成18年と比べると65歳以上の行動者率の低下が大きい。

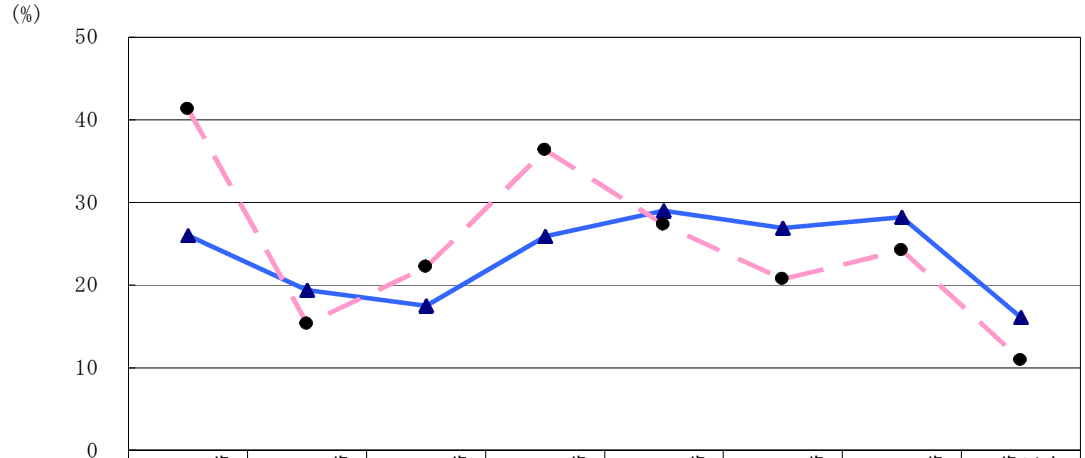
男女別でみると10～14歳、35～44歳の男女差が大きくなっている。

図２－１　「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 37.0 | 16.0 | 17.3 | 32.2 | 27.4 | 24.5 | 30.1 | 20.0 |
| 平成23年 | 33.5 | 17.4 | 19.8 | 31.0 | 28.1 | 23.8 | 26.0 | 12.9 |

図２－２「ボランティア活動」の男女、年齢階級別行動者率

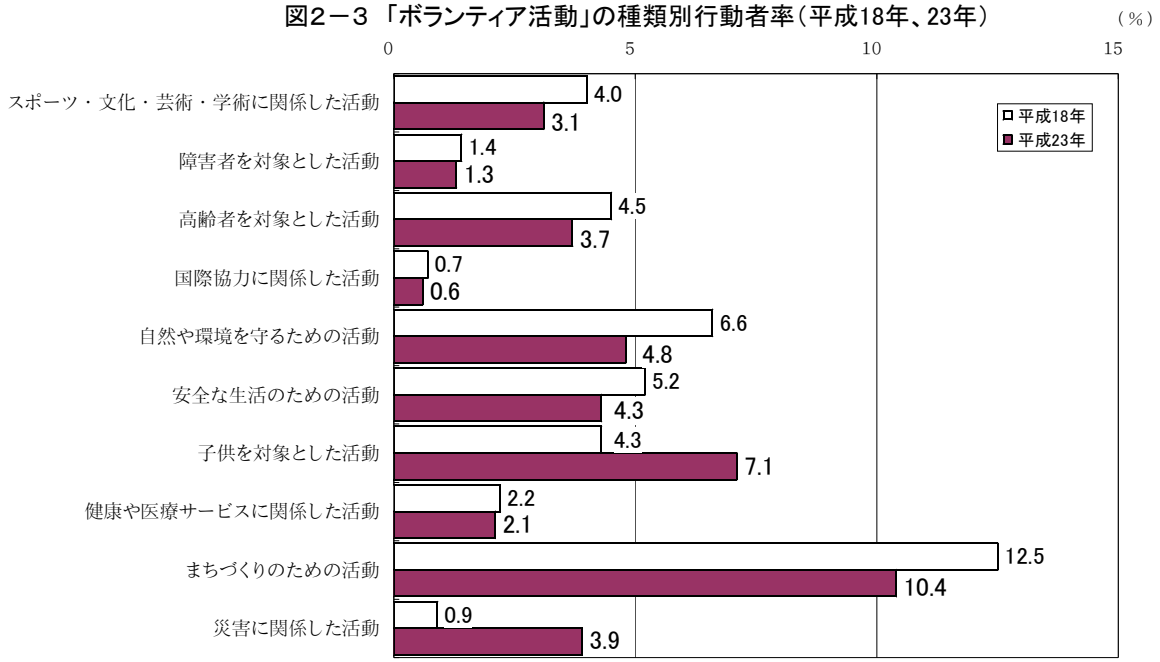



| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 26.0 | 19.4 | 17.5 | 25.9 | 29.0 | 26.9 | 28.2 | 16.1 |
| 女 | 41.3 | 15.3 | 22.2 | 36.3 | 27.3 | 20.7 | 24.2 | 10.9 |

### (2)　行動者率は「災害に関係した活動」、「子供を対象とした活動」で上昇

「ボランティア活動」の行動者率を種類別にみると、「まちづくりのための活動」が10.4%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が7.1%となっている。平成18年と比べると、「災害に関係した活動」が3.0ポイント、「子供を対象とした活動」が2.8ポイント上昇している。

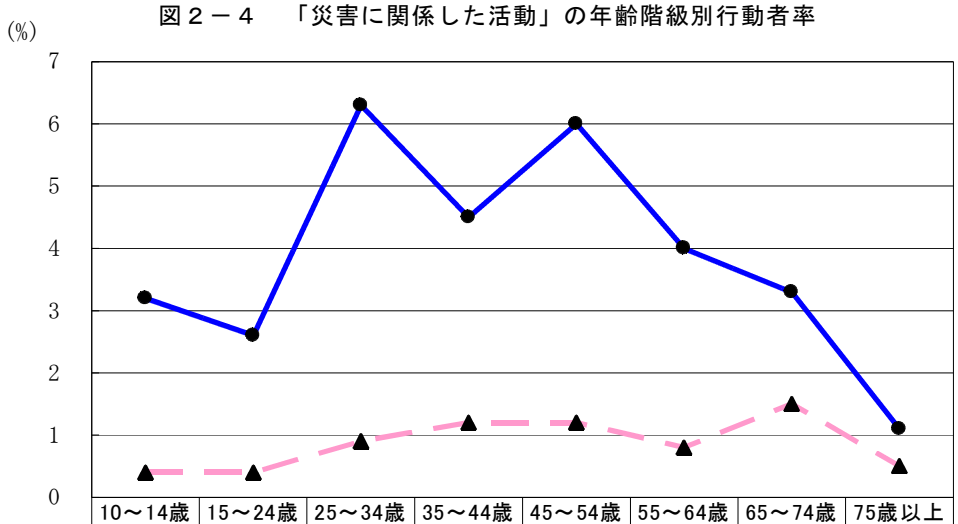
図2－3 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成18年、23年）




### (3)　「災害に関係した活動」の行動者率は全ての年齢階級で上昇

「災害に関係した活動」の行動者率を年齢階級別に平成18年と比べると、全ての年齢階級で上昇しており、特に25～34歳、45～54歳の上昇が大きい。

図２－４　「災害に関係した活動」の年齢階級別行動者率




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 0.4 | 0.4 | 0.9 | 1.2 | 1.2 | 0.8 | 1.5 | 0.5 |
| 平成23年 | 3.2 | 2.6 | 6.3 | 4.5 | 6.0 | 4.0 | 3.3 | 1.1 |

## ３　スポーツ

### (1)　１年間に「スポーツ」を行った人は121万人、行動者率は57.2%

過去１年間に何らかの「スポーツ」を行った人は121万人で、行動者率は57.2%となっている。男女別に見ると、男性は62.6%、女性は52.2%で、男性が女性より10.4ポイント高くなっている。

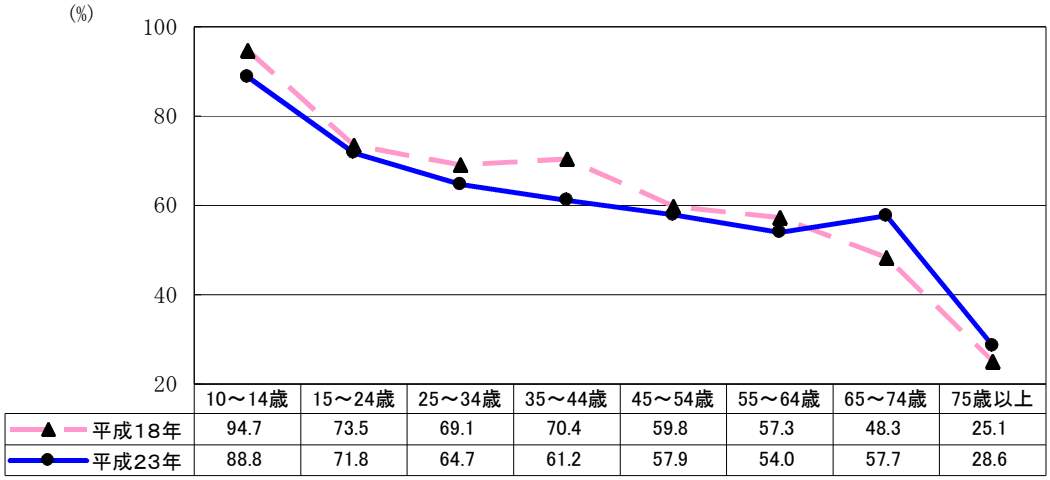
行動者率は平成18年と比べると、2.4ポイント低下している。これを男女別にみると、男性は2.7ポイント、女性は2.1ポイントそれぞれ低下している。

行動者率の全国順位は40位となっており、男性は5.3ポイント、女性は6.1ポイントそれぞれ全国を下回っている。

年齢階級別にみると、10～14歳が88.8%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下してきている。平成18年と比べると、65歳未満は低下、65歳以上は上昇している。

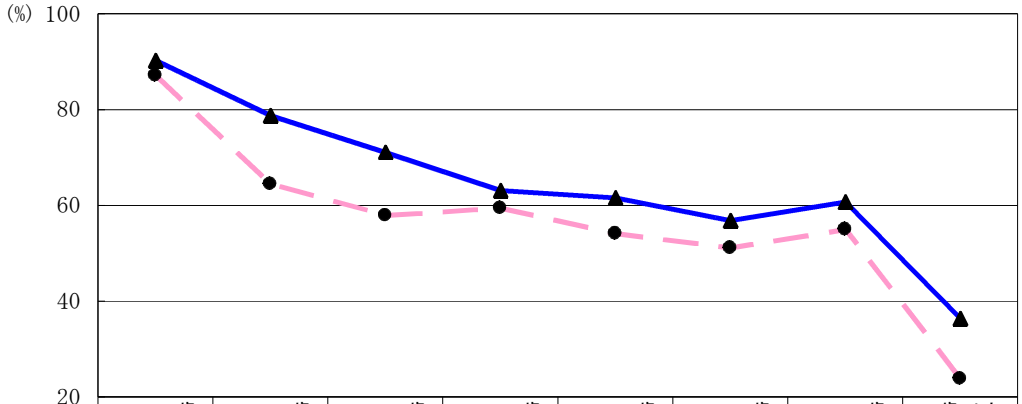
男女別にみると、全ての年齢階級で男性の方が高くなっており、15～24歳、25～34歳で特に差が大きくなっている。

図３－１　「スポーツ」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 94.7 | 73.5 | 69.1 | 70.4 | 59.8 | 57.3 | 48.3 | 25.1 |
| 平成23年 | 88.8 | 71.8 | 64.7 | 61.2 | 57.9 | 54.0 | 57.7 | 28.6 |

図３－２　「スポーツ」の男女、年齢階級別行動者率



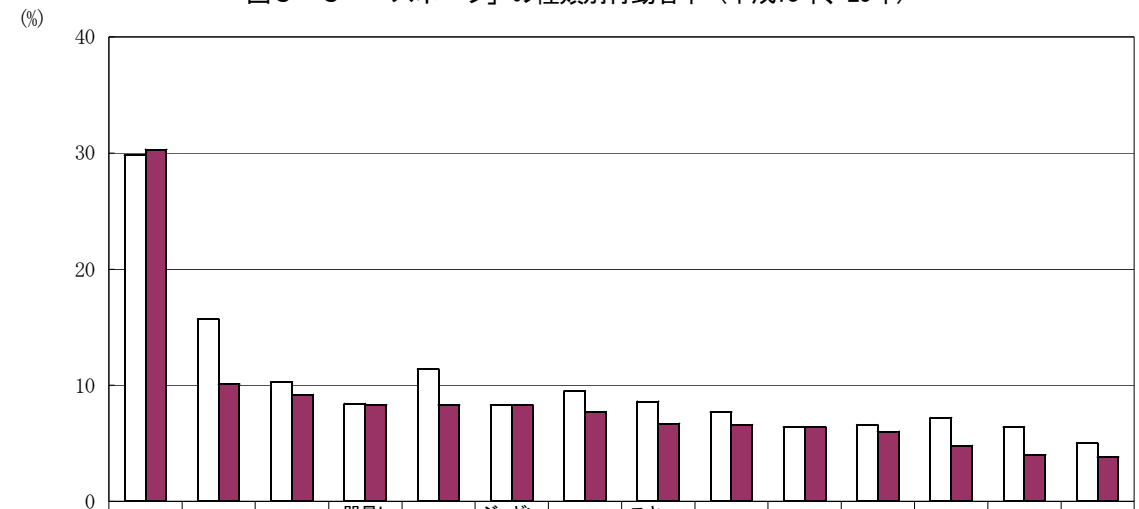

| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 90.3 | 78.8 | 71.1 | 63.1 | 61.6 | 56.8 | 60.7 | 36.4 |
| 女 | 87.1 | 64.4 | 57.9 | 59.4 | 54.1 | 51.1 | 55.0 | 23.8 |

### (2)　行動者率は全体的に低下傾向、「ウォーキング・軽い体操」が僅かに上昇

「スポーツ」の行動者率を種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」が30.3%と最も高く、次いで「ボウリング」が10.1%となっている。平成18年と比べると、「ボウリング」が5.6ポイント低下、「水泳」が3.1ポイント低下などとなっており、ほとんどの種目で低下している。一方、「ウォーキング・軽い体操」は0.5ポイント上昇している。

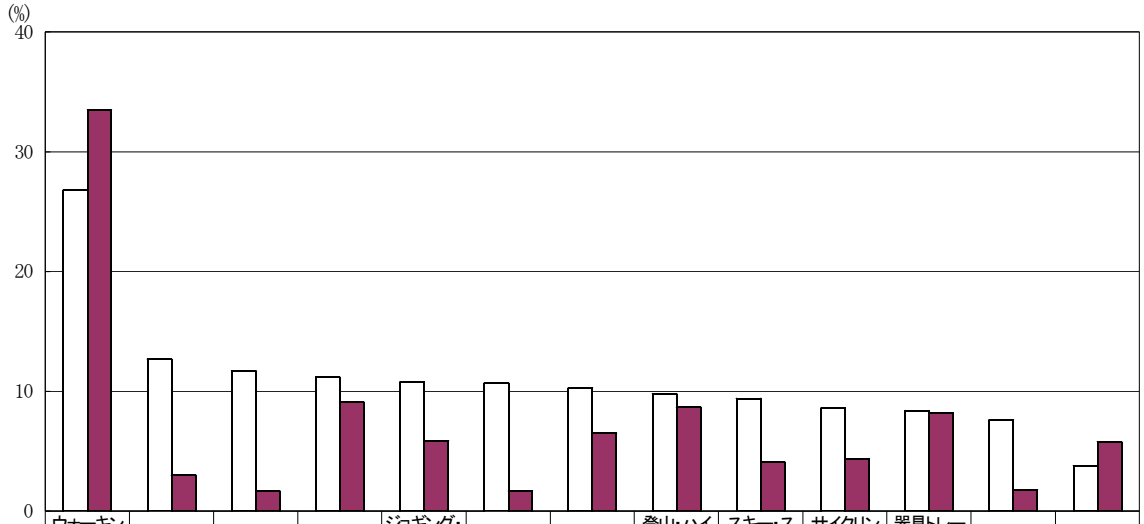
男女別にみると、男女ともに「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、以下男性は「つり」、「野球」、女性は「ボウリング」、「登山・ハイキング」などとなっている。

図３－３　「スポーツ」の種類別行動者率（平成18年、23年）




| | ウォーキング等 | ボウリング | 登山・ハイキング | 器具トレーニング | 水泳 | ジョギング・マラソン | つり | スキー・スノーボード | 野球 | サイクリング | ゴルフ | バドミントン | 卓球 | バレーボール |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □平成18年 | 29.8 | 15.7 | 10.3 | 8.4 | 11.4 | 8.3 | 9.5 | 8.6 | 7.7 | 6.4 | 6.6 | 7.2 | 6.4 | 5.0 |
| ■平成23年 | 30.3 | 10.1 | 9.2 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 7.7 | 6.7 | 6.6 | 6.4 | 6.0 | 4.8 | 4.0 | 3.8 |

図３－４　「スポーツ」の種類、男女別行動者率




| | ウォーキング等 | つり | 野球 | ボウリング | ジョギング・マラソン | ゴルフ | 水泳 | 登山・ハイキング | スキー・スノーボード | サイクリング | 器具トレーニング | サッカー | バドミントン |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □男 | 26.8 | 12.7 | 11.7 | 11.2 | 10.8 | 10.7 | 10.3 | 9.8 | 9.4 | 8.6 | 8.4 | 7.6 | 3.8 |
| ■女 | 33.5 | 3.0 | 1.7 | 9.1 | 5.9 | 1.7 | 6.5 | 8.7 | 4.1 | 4.4 | 8.2 | 1.8 | 5.8 |

※行動者率が5.0%以上の「スポーツ」の種類を表章

## ４　趣味・娯楽

### (1)　１年間に「趣味・娯楽」を行った人は170万1千人、行動者率は80.4%

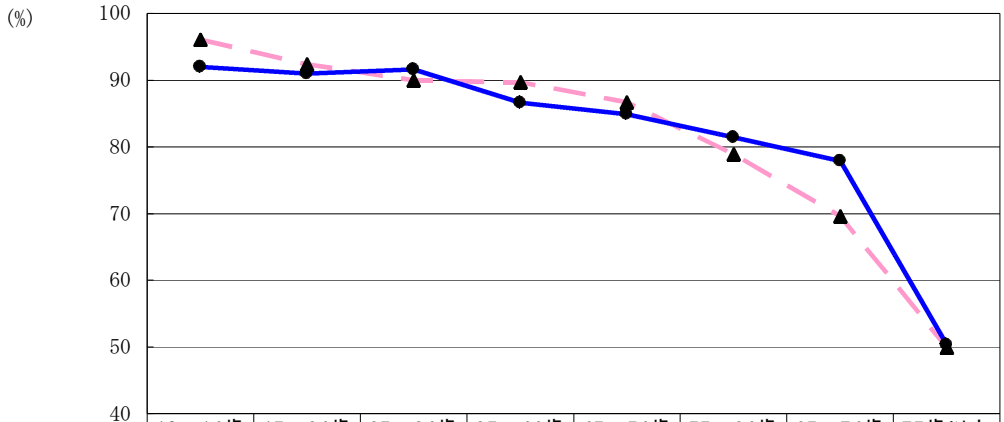
過去１年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は170万1千人で、行動者率は80.4%となっている。男女別に見ると、男性は81.4%、女性は79.5%で、男性が女性より1.9ポイント高くなっている。

行動者率は平成18年と比べると、0.1ポイント低下している。これを男女別にみると、男性は0.4ポイント低下しているが、女性は0.1ポイント上昇している。

行動者率の全国順位は37位となっており、男性は3.4ポイント、女性は5.4ポイントそれぞれ全国を下回っている。

年齢階級別にみると、10～14歳が92.0%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。平成18年と比べると、65～74歳が特に上昇している。

図４－１　「趣味・娯楽」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 96.1 | 92.4 | 90.0 | 89.7 | 86.7 | 78.9 | 69.6 | 49.9 |
| 平成23年 | 92.0 | 91.0 | 91.6 | 86.6 | 84.9 | 81.4 | 77.9 | 50.3 |

### (2)　種類別行動者率の第１位は世代により傾向がはっきりしている

「趣味・娯楽」の種類別行動者率を年齢階級別にみると、10～24歳では「テレビゲーム・パソコンゲーム、25～54歳では「ＣＤ・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」、55歳以上では「園芸・庭いじり・ガーデニング」が、それぞれ最も高くなっている。

また、65歳以上を除く全ての年齢階級で「ＤＶＤ・ビデオなどによる映画鑑賞」が上位となっている。

注１：「テレビゲーム・パソコンゲーム」は、家庭で行うもの、携帯用を含む。

注２：「映画鑑賞」は、テレビ、ＤＶＤなどは除く。

注３：「ＣＤ・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」は、テレビからの録画は除く。

注４：「演芸・演劇・舞踊鑑賞」は、テレビ、ＤＶＤなどは除く。

注５：「美術鑑賞」は、テレビ、ＤＶＤなどは除く。

表１　「趣味・娯楽」の年齢階級、種類別行動者率の順位

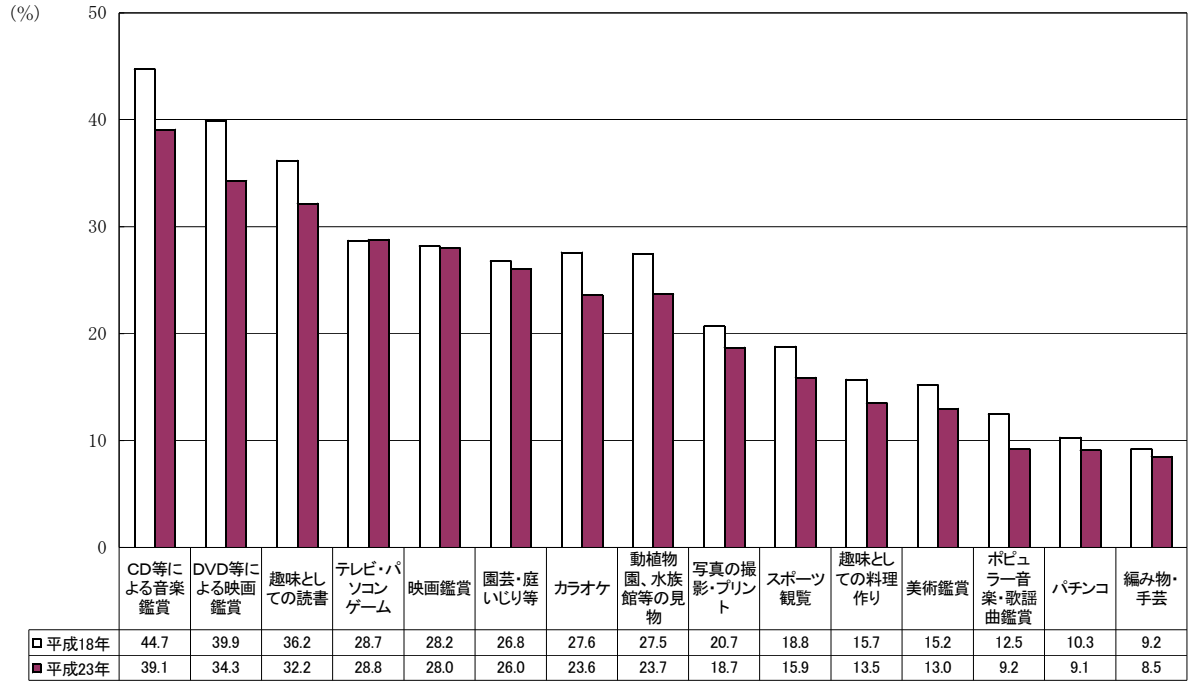
| | １位 | 行動者率 | ２位 | 行動者率 | ３位 | 行動者率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 10～14歳 | テレビゲーム・パソコンゲーム | 78.1% | ＤＶＤ・ビデオなどによる映画鑑賞 | 53.5% | 映画鑑賞 | 50.2% |
| 15～24歳 | テレビゲーム・パソコンゲーム | 66.8% | ＣＤ・テープなどによる音楽鑑賞 | 63.1% | ＤＶＤ・ビデオなどによる映画鑑賞 | 53.0% |
| 25～34歳 | １位 | | | | テレビゲーム・パソコンゲーム | 54.4% |
| | ＣＤ・テープなどによる音楽鑑賞 | 62.5% | ＤＶＤ・ビデオなどによる映画鑑賞 | 62.5% | | |
| 35～44歳 | ＣＤ・テープなどによる音楽鑑賞 | 56.8% | ＤＶＤ・ビデオなどによる映画鑑賞 | 50.8% | テレビゲーム・パソコンゲーム | 40.7% |
| 45～54歳 | ＣＤ・テープなどによる音楽鑑賞 | 51.5% | ＤＶＤ・ビデオなどによる映画鑑賞 | 41.4% | 趣味としての読書 | 37.5% |
| 55～64歳 | 園芸・庭いじり・ガーデニング | 44.4% | 趣味としての読書 | 30.2% | ＣＤ・テープなどによる音楽鑑賞 | 28.2% |
| 65～74歳 | 園芸・庭いじり・ガーデニング | 46.6% | 趣味としての読書 | 27.6% | 美術鑑賞 | 17.2% |
| 75歳以上 | 園芸・庭いじり・ガーデニング | 29.7% | 趣味としての読書 | 12.8% | 美術鑑賞 | 7.4% |

## (3)　行動者率が上昇したのは「テレビゲーム,パソコンゲーム」など

平成18年と比較可能な「趣味・娯楽」の行動者率を種類別にみると、「テレビゲーム、パソコンゲーム」が0.1ポイント上昇などとなっている。

逆に行動者率が低下したものは、「ＣＤ・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」、「ＤＶＤ・ビデオなどによる映画鑑賞」が5.6ポイント、「趣味としての読書」、「カラオケ」が4.0ポイント低下などとなっている。

図4－2　「趣味･娯楽」の種類別行動者率（平成18年、23年）




※行動者率が上位15の「趣味・娯楽」の種類を表章

## ５　旅行・行楽

### (1)　１年間に「旅行・行楽」を行った人は148万9千人、行動者率は70.4%

過去１年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は148万9千人で行動者率は70.4%となっている。男女別に見ると、男性は69.5%、女性は71.3%で、女性が男性より1.8ポイント高くなっている。

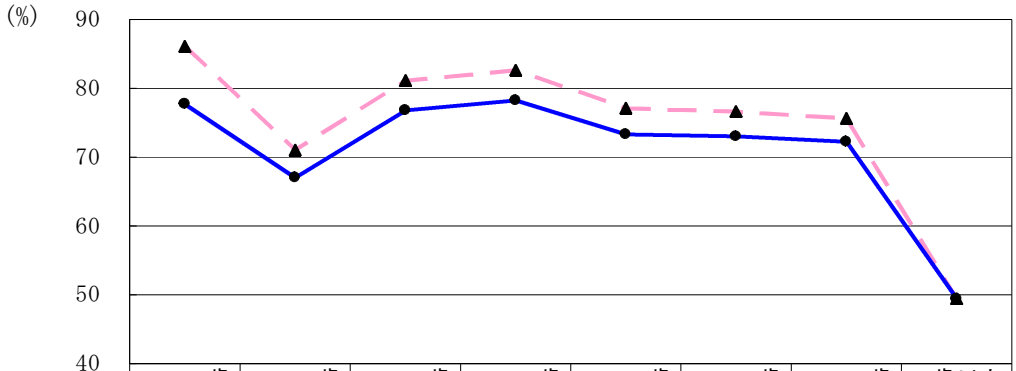
行動者率は平成18年と比べると、4.0ポイント低下している。これを男女別にみると、男性は2.8ポイント、女性は5.1ポイントそれぞれ低下している。

行動者率の全国順位は29位となっており、男性は1.6ポイント、女性は4.0ポイントそれぞれ全国を下回っている。

年齢階級別にみると35～44歳が78.2%と最も高く、75歳以上が49.4%と最も低くなっている。平成18年と比べると10～14歳の行動者率の低下が大きい。

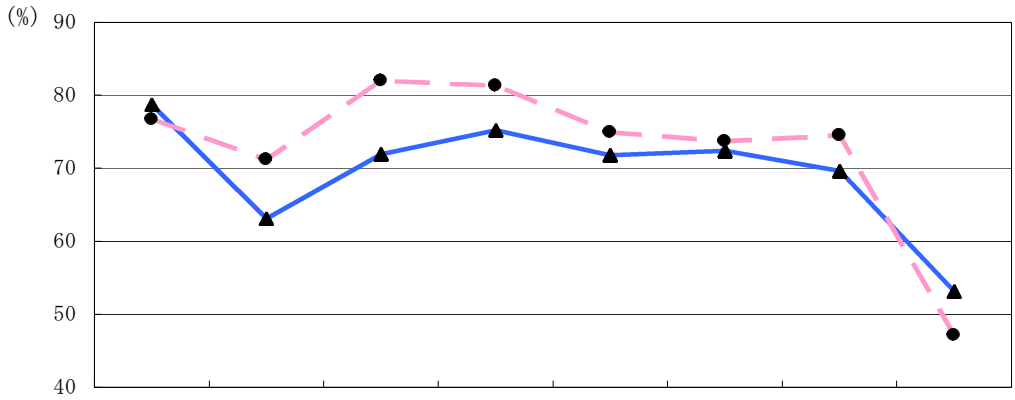
男女別でみてみると25～34歳の男女差が大きくなっている。

図５－１　「旅行・行楽」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成18年 | 86.1 | 71.0 | 81.1 | 82.6 | 77.1 | 76.6 | 75.6 | 49.4 |
| 平成23年 | 77.7 | 67.0 | 76.8 | 78.2 | 73.3 | 73.0 | 72.2 | 49.4 |

図５－２　「旅行・行楽」の男女、年齢階級別行動者率




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 78.7 | 63.1 | 71.9 | 75.2 | 71.8 | 72.4 | 69.6 | 53.1 |
| 女 | 76.7 | 71.2 | 82.0 | 81.3 | 74.9 | 73.7 | 74.5 | 47.1 |

### (2)　行動者率は「観光旅行（国内）」が45.0%、「観光旅行（海外）」は3.1%

「旅行・行楽」の行動者率を種類別にみると、「行楽（日帰り）」が56.6%、観光旅行では国内が45.0%、海外が3.1%となっている。平成18年と比べると「観光旅行（国内）」が5.0ポイント低下、「行楽（日帰り）」が2.2ポイント低下などとなっており全ての種類で低下している。

男女別にみると、国内及び海外の「業務出張・研修・その他」を除き、全ての種類で女性が高くなっている。

図5－3 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成18年、23年）

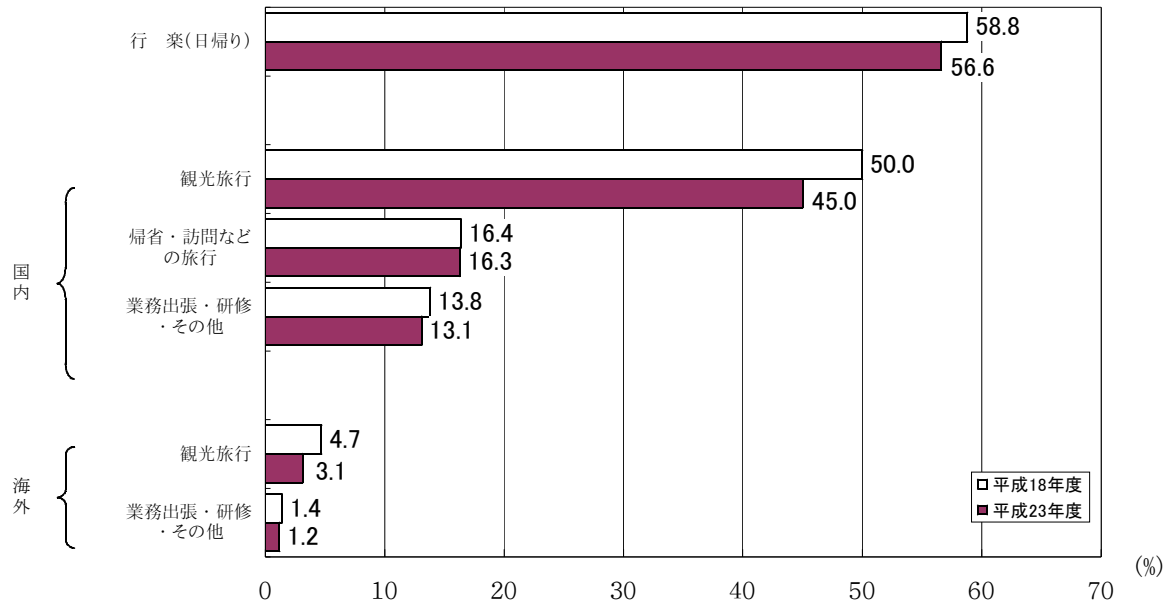
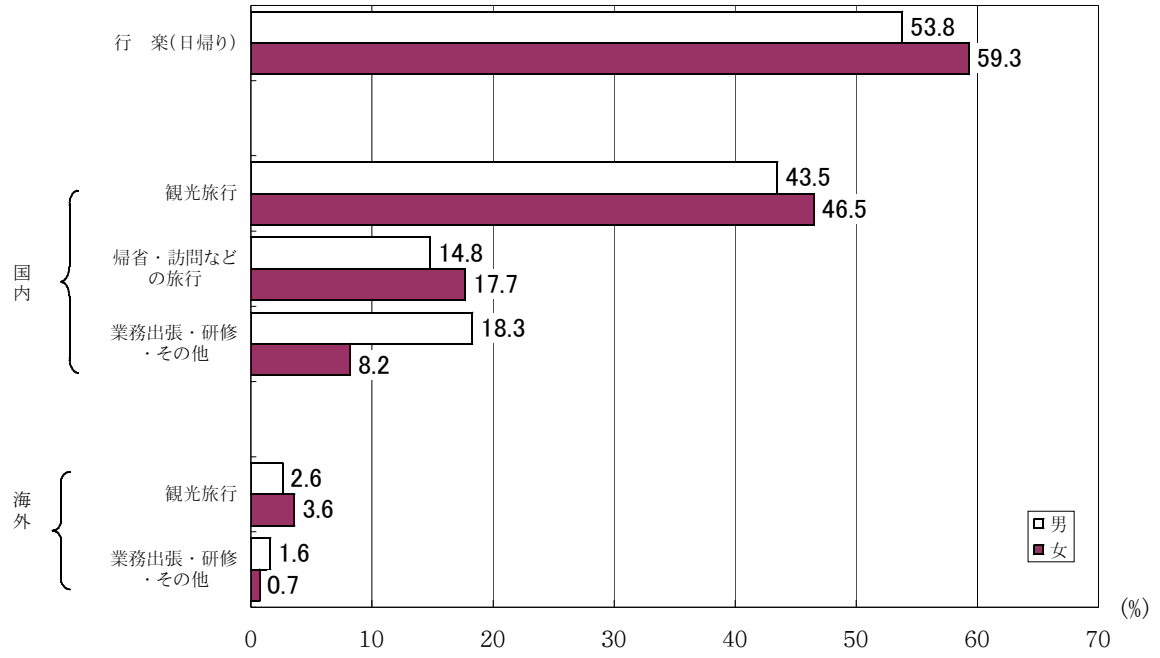



図5－4 「旅行・行楽」の種類、男女別行動者率



# Ⅱ　生活時間に関する結果

## １　１日の生活時間の配分

### (1)　全国に比べて１次活動時間は長く、２次活動時間は短い

新潟県の10歳以上の人について、１日の生活時間（週全体平均。以下「週全体」という。）をみると、１次活動（睡眠、食事など生理的に必要な活動）時間が10時間45分、２次活動（仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動）時間が6時間48分、３次活動（１次活動、２次活動以外で各人が自由に使える時間における活動）時間が6時間27分となっている。

男女別にみると、１次活動時間は、ほぼ同じ長さになっているが、２次活動時間は女性が12分長くなっており、３次活動時間は男性が17分長くなっている。

平成18年と比べると、１次活動時間　は1分の増加、３次活動時間は2分の減少となっている。

全国と比べると、１次活動時間は５分長く、２次活動時間は５分短いが、仕事時間は12分長くなっている。

### (2)　２次活動時間、３次活動時間の男女差は縮小

生活時間の男女差を平成18年と比べると、１次活動時間は1分差が5分差に拡大したものの、2次活動時間は、21分差が12分差に、３次活動時間は22分差が17分差と差が縮小している。

表２　行動の種類別生活時間の推移（平成18年、23年）－週全体

（時間．分）

| | 総数 | | 男 | | 女 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平成23年 | 平成18年 | 平成23年 | 平成18年 | 平成23年 | 平成18年 |
| **１次活動** | **10.45(10.40)** | **10.44** | **10.43** | **10.43** | **10.48** | **10.44** |
| 睡眠 | 7.52(7.42) | 7.51 | 8.02 | 7.59 | 7.42 | 7.44 |
| 身の回りの用事 | 1.18(1.19) | 1.14 | 1.09 | 1.08 | 1.27 | 1.20 |
| 食事 | 1.35(1.39) | 1.38 | 1.33 | 1.35 | 1.38 | 1.40 |
| **２次活動** | **6.48(6.53)** | **6.48** | **6.42** | **6.37** | **6.54** | **6.58** |
| 通勤・通学 | 0.23(0.31) | 0.24 | 0.29 | 0.30 | 0.18 | 0.18 |
| 仕事 | 3.45(3.33) | 3.47 | 4.55 | 4.49 | 2.39 | 2.48 |
| 学業 | 0.38(0.39) | 0.36 | 0.41 | 0.41 | 0.35 | 0.32 |
| 家事 | 1.22(1.27) | 1.22 | 0.16 | 0.18 | 2.24 | 2.23 |
| 介護・看護 | 0.03(0.03) | 0.04 | 0.01 | 0.01 | 0.05 | 0.06 |
| 育児 | 0.13(0.14) | 0.14 | 0.05 | 0.04 | 0.21 | 0.23 |
| 買い物 | 0.23(0.26) | 0.21 | 0.14 | 0.14 | 0.31 | 0.27 |
| **３次活動** | **6.27(6.27)** | **6.29** | **6.36** | **6.40** | **6.19** | **6.18** |
| 移動（通勤・通学を除く） | 0.24(0.30) | 0.27 | 0.24 | 0.27 | 0.24 | 0.27 |
| テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | 2.33(2.27) | 2.29 | 2.36 | 2.30 | 2.31 | 2.28 |
| 休養・くつろぎ | 1.39(1.31) | 1.36 | 1.36 | 1.35 | 1.42 | 1.38 |
| 学習・自己啓発・訓練（学業以外） | 0.09(0.12) | 0.12 | 0.10 | 0.13 | 0.09 | 0.10 |
| 趣味・娯楽 | 0.40(0.44) | 0.43 | 0.46 | 0.53 | 0.34 | 0.33 |
| スポーツ | 0.11(0.14) | 0.12 | 0.14 | 0.16 | 0.09 | 0.09 |
| ボランティア活動・社会参加活動 | 0.04(0.04) | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.03 | 0.04 |
| 交際・付き合い | 0.20(0.19) | 0.22 | 0.19 | 0.19 | 0.22 | 0.25 |
| 受診・療養 | 0.08(0.08) | 0.09 | 0.08 | 0.08 | 0.08 | 0.09 |
| その他 | 0.18(0.17) | 0.15 | 0.19 | 0.14 | 0.17 | 0.16 |
| （再　掲） | | | | | | |
| 家事関連 | 2.01(2.10) | 2.01 | 0.36 | 0.37 | 3.21 | 3.19 |
| 休養等自由時間活動 | 4.12(3.58) | 4.05 | 4.12 | 4.05 | 4.13 | 4.06 |
| 積極的自由時間活動 | 1.04(1.14) | 1.11 | 1.14 | 1.26 | 0.55 | 0.56 |

注１：（ ）内は、全国の数値
注２：「学習・自己啓発・訓練（学業以外）」の平成18年の項目名は、「学習、研究（学業以外）」
注３：「家事関連」は、「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間
注４：「休養等自由時間活動」は、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」及び「休養・くつろぎ」の合計時間
注５：「積極的自由時間活動」は、「学習・自己啓発・訓練（学業以外）」、「趣味・娯楽」及び「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計時間

### (3)　２次活動時間は、男性は25～34歳、女性は35～44歳が最も長い

生活時間を年齢階級別にみると、１次活動時間は，男性は35～44歳（９時間56分）、女性は45～54歳（９時間52分）が最も短く、男性、女性とも75歳以上で最も長くなっている。

２次活動時間は、男性は25～34歳（８時間57分）、女性は35～44歳（９間間15分）が最も長く、これより年齢階級が低くなるほど及び高くなるほど短くなる傾向となっている。

３次活動時間は、男性は25～34歳（４時間53分）、女性は35～44歳（４時間36分）が最も短く、これより年齢階級が低くなるほど及び高くなるほど長くなる傾向となっている。

図6－1　年齢階級、行動の種類別生活時間（男）－週全体

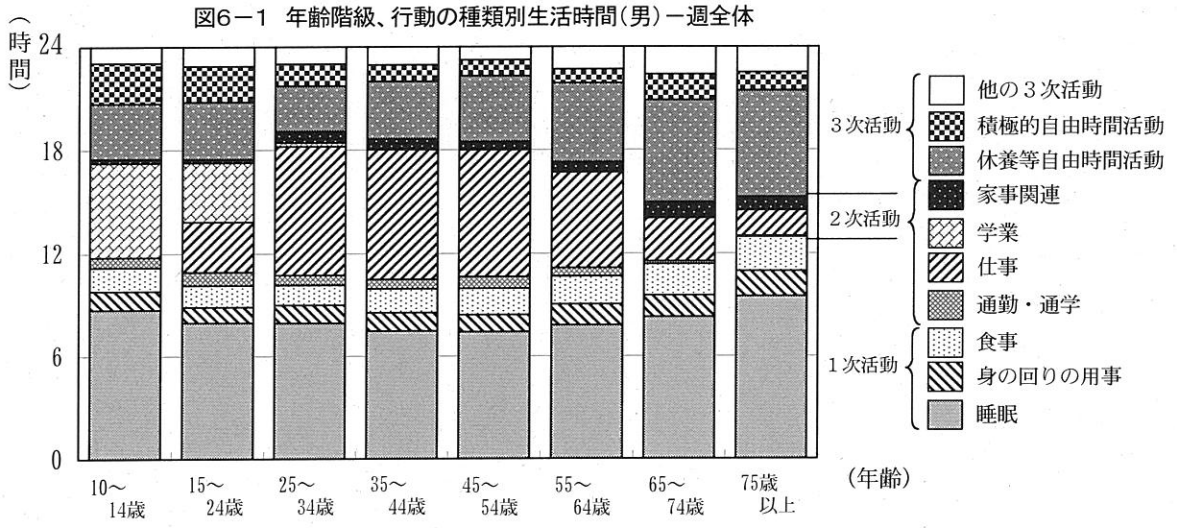
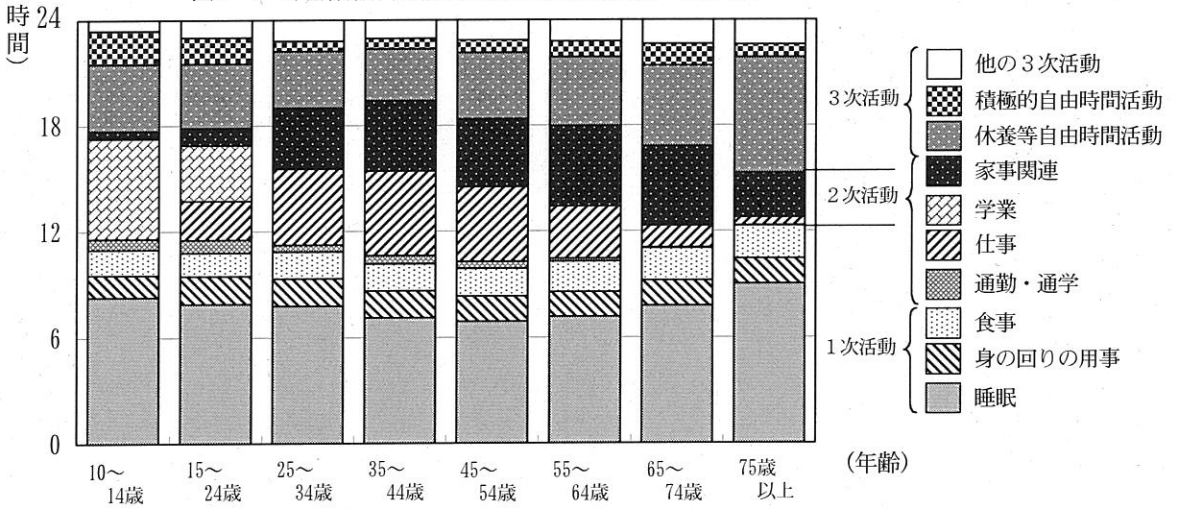



図6－2　年齢階級、行動の種類別生活時間（女）－週全体



## ２　１次活動

### 睡眠

#### ①　男性は増加、女性は減少

10歳以上の人の睡眠時間（週全体）は7時間52分で、男性が8時間2分、女性が7時間42分と、男性が女性より20分長くなっている。

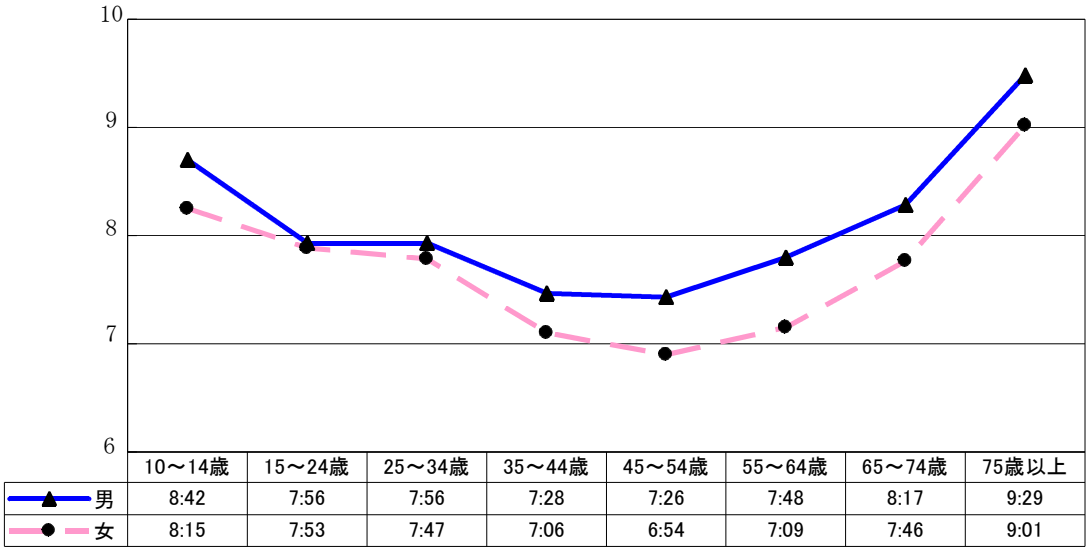
平成18年と比べると、男性は3分増加し、女性は2分減少している。

全国と比べると、男性は13分、女性は6分、それぞれ全国より長くなっている。

#### ②　45歳～54歳で最も短い睡眠時間

年齢階級別に睡眠時間（週全体）をみると、45～54歳の男性が7時間26分、女性が6時間54分と最も短くなっている。また、女性の睡眠時間は各年齢階級で男性より短くなっており、特に55～64歳では、39分短くなっている。

（時間）　図７－１　男女、年齢階級別睡眠時間－週全体




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 8:42 | 7:56 | 7:56 | 7:28 | 7:26 | 7:48 | 8:17 | 9:29 |
| 女 | 8:15 | 7:53 | 7:47 | 7:06 | 6:54 | 7:09 | 7:46 | 9:01 |

## ３　２次活動

### (1) 仕事

#### ①　男性は増加、女性は減少

有業者（15歳以上。以下同じ。）の１日の仕事時間（週全体）は6時間16分で、男性は7時間13分、女性は5時間5分となっている。

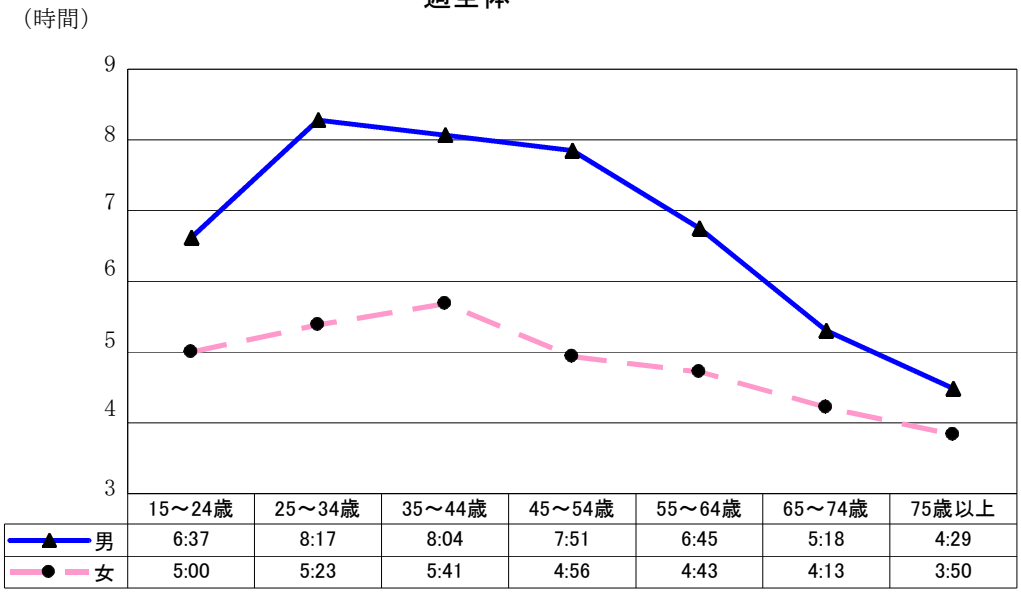
平成18年と比較すると、男性は23分の増加、女性は9分の減少となっている。

全国と比べると、男性は17分、女性は15分、それぞれ全国より長くなっている。

#### ②　男性は25～34歳、女性は35～44歳で最も長い仕事時間

有業者の仕事時間（週全体）を年齢階級別にみると、男性は25～34歳が8時間17分と最も長く、次いで、35～44歳が8時間4分、45～54歳が7時間51分などとなっている。女性は35～44歳が5時間41分と最も長く、次いで、25～34歳が5時間23分、15～24歳が5時間00分などとなっている。

図７－２　男女、年齢階級別仕事時間（有業者）
－週全体




| | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 6:37 | 8:17 | 8:04 | 7:51 | 6:45 | 5:18 | 4:29 |
| 女 | 5:00 | 5:23 | 5:41 | 4:56 | 4:43 | 4:13 | 3:50 |

## (2) 家事関連

### ① 依然として男女の差が大きい家事関連時間

10歳以上の人の家事関連時間（「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計時間）（週全体）は2時間1分で、男性が36分、女性が3時間21分と男女の間に大きな差がある。

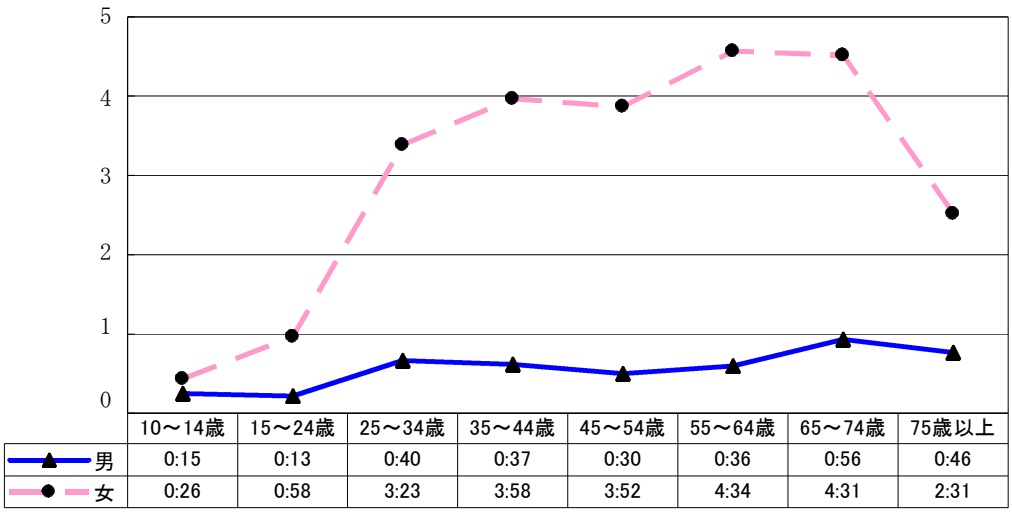
平成18年と比べると、男性は1分の減少、女性は2分の増加となっている。男女間の較差は2時間42分から2時間45分へと、3分拡大している。

全国と比べると、男性は6分、女性は14分、それぞれ全国より短くなっている。

### ② 家事関連時間は55～64歳の女性が最も長い

家事関連時間（週全体）を年齢階級別にみると、男性は65～74歳が56分と最も長く、次いで、75歳以上が46分などとなっている。一方、女性は55～64歳及び65～74歳の年齢階級で４時間を超えており、55～64歳が4時間34分と最も長くなっている。

図７－３　男女、年齢階級別家事関連時間－週全体




| | 10～14歳 | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 0:15 | 0:13 | 0:40 | 0:37 | 0:30 | 0:36 | 0:56 | 0:46 |
| 女 | 0:26 | 0:58 | 3:23 | 3:58 | 3:52 | 4:34 | 4:31 | 2:31 |

## ４　３次活動

### (1)　休養等自由時間活動

#### ①　休養等自由時間活動の時間は、男女ともほぼ同じ長さ

10歳以上の人の休養等自由時間活動の時間（「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」の合計時間）（週全体）は4時間12分となっている。これを男女別にみると、男性は4時間12分、女性は4時間13分で、ほぼ同じ長さになっている。

平成18年と比べると、男性、女性ともに7分の増加となっている。

全国と比べると、男性は10分、女性は18分、それぞれ全国より長くなっている。

#### ②　全国に比べて長い「休養・くつろぎ」の時間

休養等自由時間活動を項目別にみると、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」に費やす時間は2時間33分、「休養・くつろぎ」に費やす時間は1時間39分となっている。特に「休養・くつろぎ」に費やす時間は、全国と比べて8分長く、北海道、秋田県、島根県と並んで全国で最も長くなっている。

表３　休養等自由時間活動の時間－週全体

（時間. 分）

| | | 総　数 | 男 | 女 |
|---|---|---|---|---|
| 新潟県 | 休養等自由時間活動 | 4. 12 | 4. 12 | 4. 13 |
| | テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | 2. 33 | 2. 36 | 2. 31 |
| | 休養・くつろぎ | 1. 39 | 1. 36 | 1. 42 |
| 全国 | 休養等自由時間活動 | 3. 58 | 4. 02 | 3. 55 |
| | テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | 2. 27 | 2. 31 | 2. 24 |
| | 休養・くつろぎ | 1. 31 | 1. 31 | 1. 31 |

## (2)　積極的自由時間活動

### ①　積極的自由時間活動の時間は、男性が女性より長い

10歳以上の人の積極的自由時間活動の時間（「学習・自己啓発・訓練」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計時間）（週全体）は1時間4分で、このうち「趣味・娯楽」に費やす時間が40分と最も長く、次いで「スポーツ」が11分、「学習・自己啓発・訓練」が9分となっている。

男女別にみると、男性は1時間14分、女性は55分で、男性が女性より19分長くなっている。

平成18年と比べると、男性は12分、女性は1分の減少となっている。

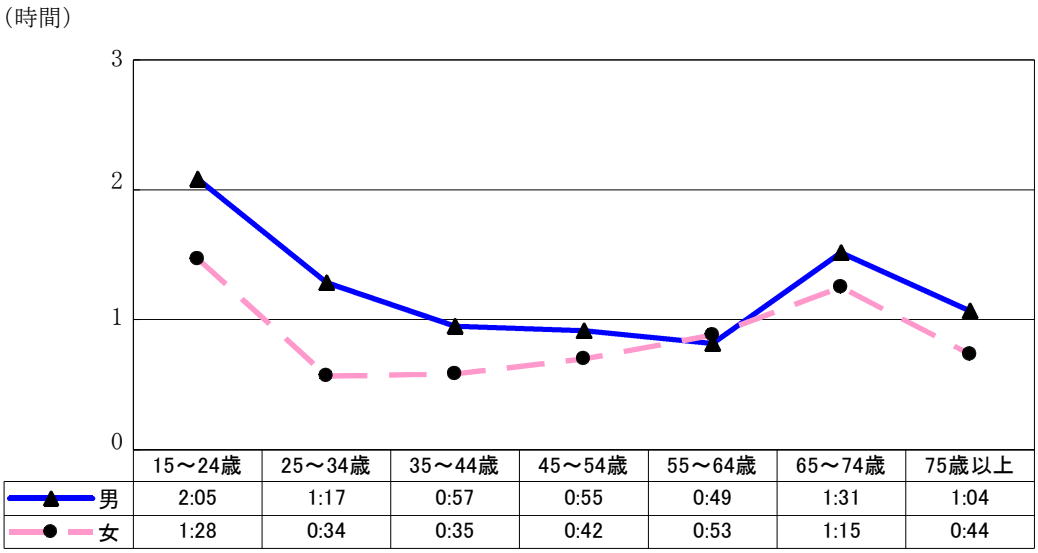
全国と比べると、男性は14分、女性は9分それぞれ全国より短くなっている。

### ②　男女とも15～24歳で最も長い積極的自由時間活動の時間

15歳以上の人について積極的自由時間活動の時間（週全体）を年齢階級別にみると、男性は15～24歳が2時間5分で最も長く、55～64歳が49分で最も短くなっている。女性は15～24歳が1時間28分と最も長く、25～34歳が最も短くなっている。

また、男女を比べると、女性の積極的自由時間活動の時間は、55歳～64歳を除いて、すべての年齢階級で男性より短くなっており、特に25～34歳では43分短くなっている。

図8　男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間
－週全体（15歳以上）




| | 15～24歳 | 25～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 2:05 | 1:17 | 0:57 | 0:55 | 0:49 | 1:31 | 1:04 |
| 女 | 1:28 | 0:34 | 0:35 | 0:42 | 0:53 | 1:15 | 0:44 |

# 主　要　統　計　表


Ⅰ　新潟県の男女、年齢、項目別の統計表

第１－１表　男女、学習・自己啓発・訓練の種類別行動者数 ---------- 22
第１－２表　男女、年齢、学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率 ------- 22
第２－１表　男女、ボランティア活動の種類別行動者数 ---------- 23
第２－２表　男女、年齢、ボランティア活動の種類別行動者率 ---------- 23
第３－１表　男女、スポーツの種類別行動者数 ---------- 24
第３－２表　男女、年齢、スポーツの種類別行動者率 ---------- 24
第４－１表　男女、趣味・娯楽の種類別行動者数 ---------- 26
第４－２表　男女、年齢、趣味・娯楽の種類別行動者率 ---------- 26
第５－１表　男女、旅行・行楽の種類別行動者数 ---------- 29
第５－２表　男女、年齢、旅行・行楽の種類別行動者率 ---------- 29
第６表　　男女、行動の種類別総平均時間（週全体） ----------30

Ⅱ　都道府県別の統計表

第７表　都道府県、学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率 ---------- 33
第８表　都道府県、ボランティアの種類別行動者率 ---------- 34
第９表　都道府県、スポーツの種類別行動者率 ---------- 35
第10表　都道府県、趣味・娯楽の種類別行動者率 ---------- 37
第11表　都道府県、旅行・行楽の種類別行動者率 ---------- 40
第12表　都道府県、１～３次活動の種類別総平均時間（週全体） --------- 41
第13表　都道府県、男女、行動の種類別総平均時間（週全体） ---------- 42